

令和6年度 大阪市立横堤中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようになる。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るために、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和6年度 大阪市立横堤中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3年	学校	83	67	62	2.5	8.5
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3年	学校	87	75.8	59.8	57.4	57.8	59.6	3.1	3.1	11.8	3.1	6.3
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	53.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.3	6.5
	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.4	53.6	5.3	5.0	14.8	5.0	6.9
2年	学校	72	67.0	56.3	57.8	47.1	57.0	9.5	4.6	8.9	8.2	7.9
	大阪市	—	66.1	49.9	51.4	49.5	54.6	8.4	4.6	8.2	6.1	7.0
	大阪府	—	65.5	49.5	50.7	47.2	54.0	9.3	5.2	9.5	7.4	7.9
1年	学校	95	61.6	61.5	47.6	50.3	62.2	8.4	4.4	9.4	5.4	6.4
	大阪市	—	59.0	53.7	50.5	55.6	62.1	8.3	5.5	7.4	3.8	4.9
	大阪府	—	58.5	49.8	49.8	—	61.5	9.4	8.8	—	5.8	5.8

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はB問題を選択 2年生の理科はB問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】 (スコア)	聞くこと 【リスニング】 (スコア)	書くこと 【ライティング】 (スコア)	話すこと 【スピーキング】 (スコア)
3年	学校	86	112.8	111.6	159.9	103.2
10月16日	大阪市	—	105.7	104.6	149.6	102.1

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	持久走 男子1500m 女子1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
			(kg)	(cm)	(点)	(回)					
2年 男子	学校	27.73	25.38	38.08	50.60		423.00	8.33	194.73	18.83	38.03
	大阪市	28.38	26.42	42.74	51.50		422.62	8.08	194.64	19.84	41.10
	全国	28.95	25.94	44.47	51.51		410.69	7.99	197.18	20.57	41.86
2年 女子	学校	24.42	26.63	44.94	49.03		309.23	9.13	173.55	11.03	50.64
	大阪市	22.99	22.21	45.64	45.86		337.57	9.01	167.01	12.04	47.51
	全国	23.18	21.56	46.47	45.65		309.02	8.96	166.32	12.40	47.37

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

<国語>

- 平均正答率の「対全国比」においては1.20(+8.9P)であり、全国平均を上回る結果となった。また、平均無回答率の「対全国比」においては0.61(-1.4P)であり、これも全国平均を大きく上回る結果となり、この調査に対して最後まで粘り強く取り組む姿勢があらわれている。
- 領域の平均正答率においては、「言葉の特徴や使い方にに関する事項」が+11.5P、「情報の取り扱いに関する事項」が+4.9P、「我が国の言語文化に関する事項」が+6.3P、「話すこと・聞くこと」が+8.3P、「書くこと」が+11.2P、「読むこと」が+6.3Pと全国平均を大きく上回る結果となった。

- 習熟度別少人数授業やティームティーチングで個に応じたきめ細かい指導を行ったり、グループ学習を取り入れたりしていることが成果として現れている。

<数学>

- 平均正答率の「対全国比」においては1.18(+9.5P)であり、全国平均を上回る結果となった。また、平均無回答率の「対全国比」においては0.75(-2.8P)であり、大きく上回る結果となり、最後まで粘り強く取り組む姿勢があらわれている。

- 領域においては、「数と式」が+8.1P、「図形」が+6.3P、「関数」が+5.6P、「データの活用」が+17.7Pと全国平均を大きく上回る結果となつた。

- 習熟度別少人数授業やティームティーチングで個に応じたきめ細かい指導を行っていることが成果として表れている。計算問題の反復学習を継続して行い、「データの活用」についての学習を多く取り入れていきたい。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

<成果>

- 大阪府と比較して、平均正答率はすべての教科で大幅に上回り、対府比は1.15となっている。教科別では、国語においては大阪府平均を10.6P上回り、10P以上高い結果となっている。社会においては9.4P、数学においては8.3P大阪府平均を上回っている。一方、平均無回答率はすべての教科で大阪府平均より低く、設問に対して、あきらめずに取り組む姿勢を見せている。

<課題>

- 一部科目において、得点分布から成績の二極化が読み取れる。指導方法の工夫改善が必要である。

○大阪府英語力調査(GTEC)

<成果>

- CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する3年生の割合は65.12%と、大阪市平均の57.5%に対しては7.62ポイント上回っている。

<課題>

- CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する3年生の割合は65.12%と、目標を達成することはできなかった。指導方法の工夫改善を進めたいたい。

○中学生チャレンジテスト(1年生・2年生)・大阪市版チャレンジテストplus

<成果>

- 2年生においては、理科以外の4教科で大阪府平均を上回っている。1年生においては、数学と以外の2教科で大阪府平均を上回っている。1年生の大阪市版チャレンジテストplusでは、社会が大阪市平均を7.8P上回っている。

<課題>

- 1年生の数学・理科、2年生の理科で、大阪府平均に届いていない。特に1年生の大阪市版チャレンジテストplusの理科は大阪市平均より5.3P低い結果となっている。更なる指導方法の工夫改善が必要である。

○全館体力・運動能力、運動習慣等調査

<成果>

- 「体力合計点」において、女子については50.64で全国平均(47.37)より3.27ポイント上回っている。

<課題>

- 「体力合計点」において、男子は38.03で全国平均(41.86)より3.83ポイント下回った。運動やスポーツに親しむ機会の確保に努めたい。

【今後に向けて】

- 各教科において、どのような力を身につけさせたいかという明確な目標のもと、新学習指導要領に則し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学びの方向性を見据えた授業づくりを進めていく。

- 生徒が主体的に取り組むことができる授業づくりのために、全教職員が一人一台学習者用端末などのICT機器を更に活用することができる能力の育成を図る。

- 全学年の国語、数学、英語で進めている習熟度別少人数授業や他教科でも実践している協働学習、個別学習、補充学習など個に応じたきめ細かい指導を進めていく。また、学校元気アップ推進事業の活用を進め、放課後学習会や長期休業中の学習会の実施、定期テスト前の自主学習会など、生徒が自発的に学習に取り組む姿勢を育成するための環境整備を更にすすめる。

- 学校・地域・家庭の連携を図り、生徒が運動やスポーツに関わる機会の提供に努める。

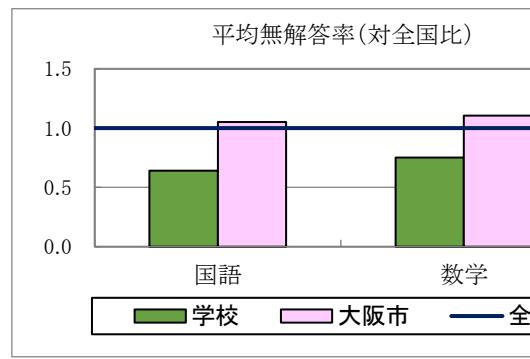
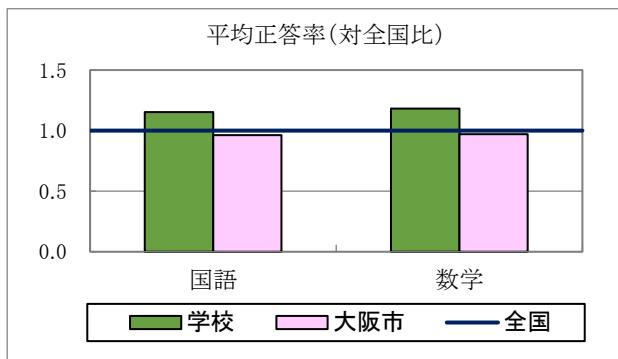
令和6年度 大阪市立横堤中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	67	62
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

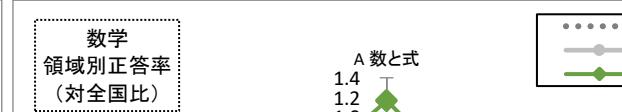
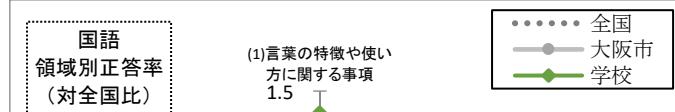
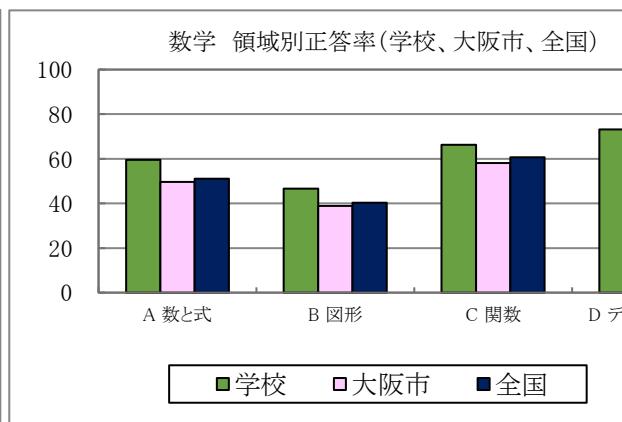
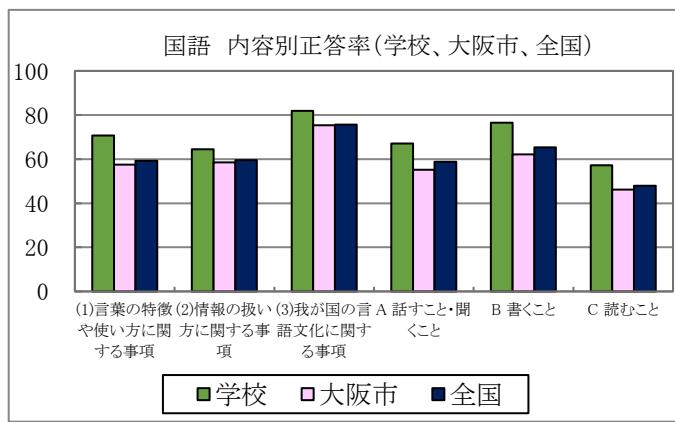
平均無解答率(%)	
国語	数学
2.5	8.5
4.1	12.5
3.9	11.3



【国 語】

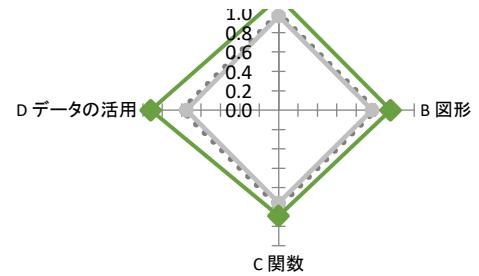
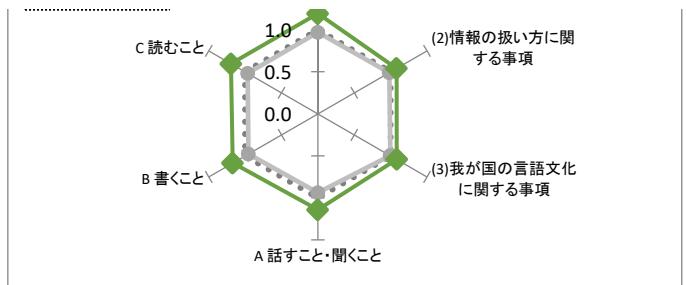
学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	3	70.7	57.5	59.2
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	64.5	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	81.9	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	67.1	55.2	58.8
B 書くこと	2	76.5	62.2	65.3
C 読むこと	4	57.2	46.2	47.9

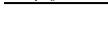
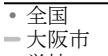
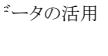
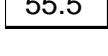
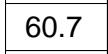
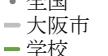
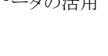
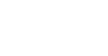
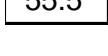
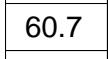
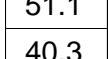
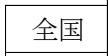
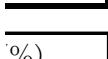
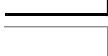
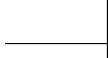
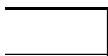
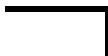
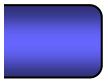
学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
		学校	大阪市
A 数と式	5	59.5	49.6
B 図形	3	46.6	38.9
C 関数	4	66.3	58.1
D データの活用	4	73.2	52.8

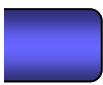


令和6年度 大阪市立横堤中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より







令和6年度 大阪市立横堤中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

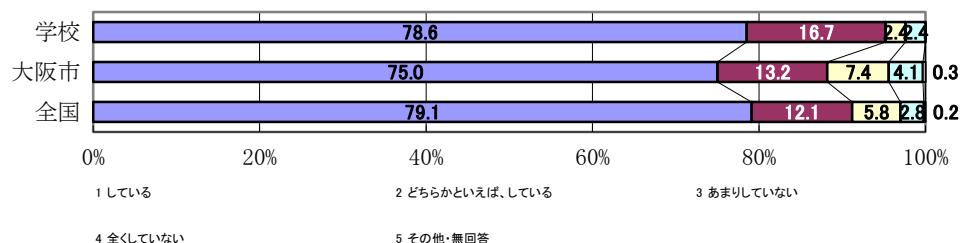
生徒質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

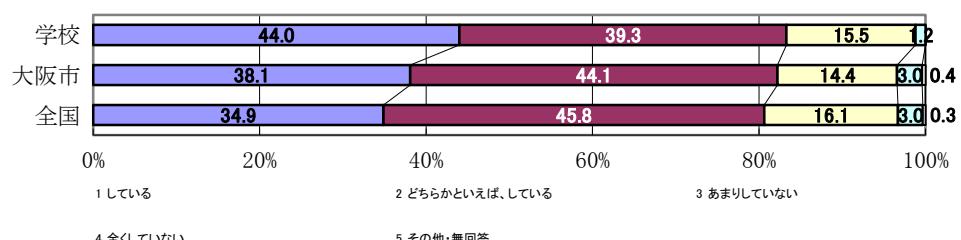
1

朝食を毎日食べていますか



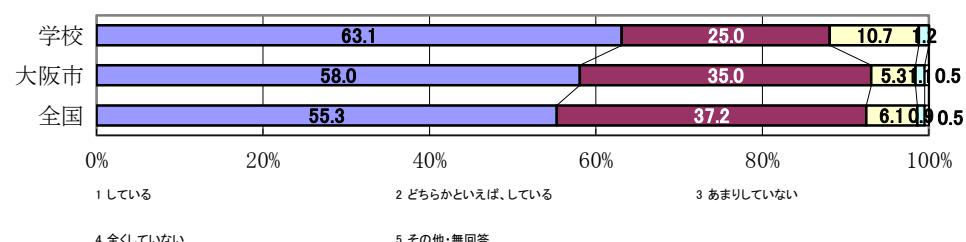
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



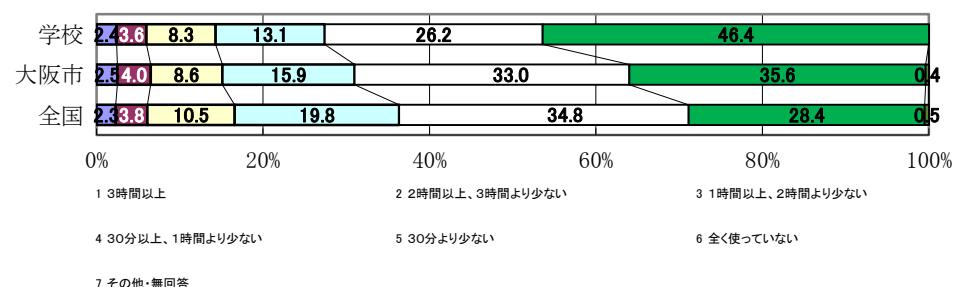
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



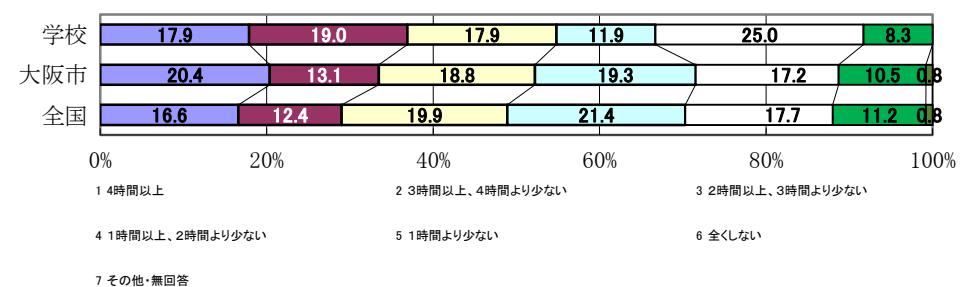
4

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



5

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)を使っていますか



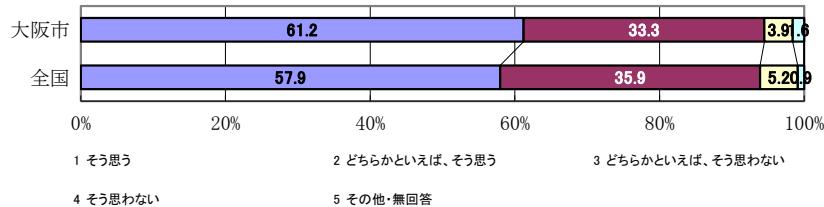
令和6年度 大阪市立横堤中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

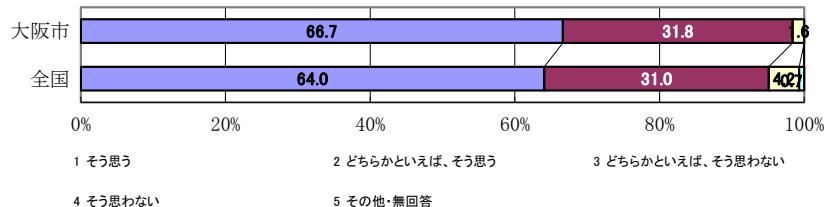
質問番号
質問事項
7
調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



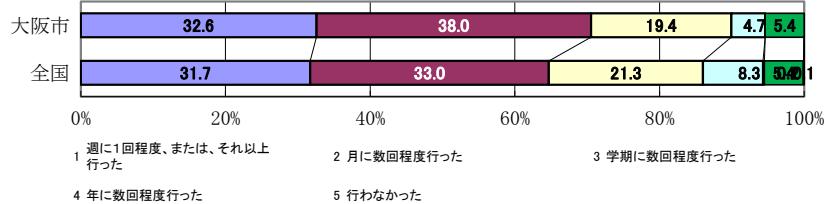
8
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



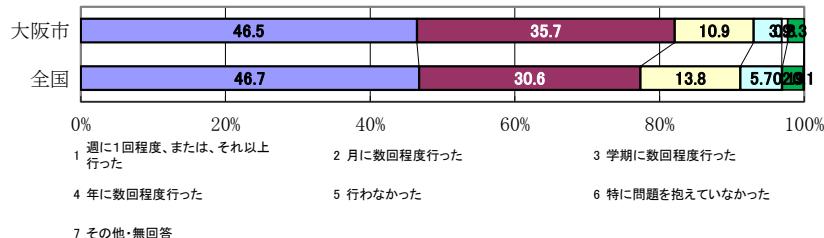
9
前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



10
前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



11
ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

学校 「十分に取り入れている」を選択

